

平成19年春ダイヤ改正について

平成18年12月22日
西日本旅客鉄道株式会社
福岡支社

JR西日本では、JRグループのダイヤ改正に合わせ、東海道・山陽新幹線「のぞみ」の増発等を中心としたダイヤ改正を実施します。

このたび、その内容がまとまりましたので、お知らせします。

☆ ダイヤ改正日 平成19年7月 1日（日）

今回のダイヤ改正では、

- 「のぞみ」に新型車両N700系を投入
- 早朝6時品川始発「のぞみ」をN700系で増発
- 速達タイプ「ひかりレールスター」を1往復増発

等を中心に実施します。

東海道・山陽新幹線

1. 「のぞみ」に新型車両N700系を投入します

新型車両N700系で運転する「のぞみ」を博多～東京・品川間に6本運転します。

N700系で運転する「のぞみ」は、新大阪～博多間では「500系のぞみ」と同じ最高速度300km/hで運転するとともに、東京～新大阪間の所要時間を最大5分短縮します。



(1) 最終・始発「のぞみ」の所要時間を短縮します

博多発東京行き最終列車の「のぞみ52号」と東京発博多行き始発列車の「のぞみ1号」をN700系で運転し、所要時間を短縮します。

【博多発東京行き最終列車「のぞみ52号」】

	博多発	広島発	岡山発	新大阪着	名古屋着	品川着	東京着	所要時間	
								博多～新大阪	博多～東京
現在(700系)	18:45	19:51	20:30	21:16	22:08	23:41	23:48	2時間31分	5時間03分
改正(N700系)	18:54	19:57	20:33	21:17	22:09	23:39	23:45	2時間23分(Δ8分)	4時間51分(Δ12分)

※小倉・新神戸・京都・新横浜にも停車します。

【東京発博多行き始発列車「のぞみ1号」】

	東京発	品川発	名古屋発	新大阪発	岡山着	広島着	博多着	所要時間	
								新大阪～博多	東京～博多
現在(500系)	6:00	6:07	7:40	8:32	9:17	9:52	10:55	2時間23分	4時間55分
改正(N700系)	6:00	6:07	7:37	8:27	9:12	9:47	10:50	2時間23分(±0)	4時間50分(Δ5分)

※新横浜・京都・新神戸・小倉にも停車します。

上記のほか、「のぞみ26号」(博多12:28→東京17:30)、

「のぞみ28号」(博多12:50→東京18:06)、

「のぞみ25号」(東京11:50→博多16:52)もN700系で運転します。

なお、ダイヤ改正日以降も順次投入を行い、N700系で運転する「のぞみ」を増やしていきます。

(2) 早朝6時 品川始発「のぞみ」をN700系で増発します

早朝6時品川始発の博多行き「のぞみ99号」をN700系で増発します。品川・新横浜からは「のぞみ99号」をご利用いただくことで、これまでの首都圏からの始発列車「のぞみ1号」(東京始発)よりも、新神戸・岡山・広島・小倉・博多に約10分早く到着が可能になります。

【品川・新横浜からの始発列車の比較】

	品川発	新横浜発	新大阪発	新神戸着	岡山着	広島着	小倉着	博多着
現在の首都圏からの始発列車「のぞみ1号」(東京始発)	6:07	6:18	8:32	8:46	9:17	9:52	10:38	10:55
改正後の首都圏からの始発列車「のぞみ99号」(品川始発)	6:00	6:11	8:21	8:34	9:06	9:42	10:28	10:45

※名古屋・京都にも停車します。

2. 速達タイプ「ひかりレールスター」を増発します

夜間の20時台に「のぞみ」の運転間隔があいているため、「のぞみ」の補完として博多発新大阪行き速達タイプ「ひかりレールスター」を増発します。

また、早朝6時新大阪始発の速達タイプ「ひかりレールスター」も増発します。現在の始発「ひかりレールスター」よりも14分早い8時35分に博多に到着します。

(現在の早朝6時新大阪始発の「ひかりレールスター」は運転時刻を約5分繰り下げます)

【博多～新大阪間に増発する「ひかりレールスター」】

列車名	博多 発	小倉 発	広島 発	福山 着	岡山 着	新神戸 着	新大阪 着
ひかり486号	20:28	20:45	21:33	21:58	22:15	22:49	23:03

【新大阪～博多間に増発する「ひかりレールスター」】

列車名	新大阪 発	新神戸 発	岡山 発	福山 発	広島 着	小倉 着	博多 着
ひかり441号	6:00	6:13	6:48	7:05	7:29	8:17	8:35

なお、博多～新大阪間運転の「こだま」1往復の運転区間を見直し、広島～新大阪間の運転とします。これにあわせ、博多～新山口間運転の「こだま」1往復を新設します。

3. 喫煙ルームを設置して列車内の分煙化を進めます

N700系新幹線には、喫煙ルーム（6箇所）を設置し全座席禁煙とします。

【N700系の喫煙ルームの設置号車】

①	②	③ 喫煙 ルーム (2箇所)	④	⑤	⑥	⑦ 喫煙 ルーム (1箇所)	⑧	⑨	⑩ 喫煙 ルーム (1箇所)	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮ 喫煙 ルーム (2箇所)	⑯
自	自	自	指	指	指	指				指	指	指	指	指	指

また、「ひかりレールスター」の、2、6号車のデッキに設置されている灰皿を1月末日までに順次撤去します。これにより「ひかりレールスター」のデッキは全て禁煙となります。なお、その他の新幹線のデッキについては、喫煙車両間等を除き全て禁煙です。